



Cisco CallManager パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB

この付録では、Microsoft PerfMon、Real-Time Monitoring Tool (RTMT)、および CISCO-CCM-MIB に関連するカウンタの情報について説明している表を示します。

パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタの説明を含む完全なリストについては、[付録 C 「パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタ」](#) を参照してください。

この付録には、次の表があります。

- [P.A-2 の表 A-1、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の電話機情報」](#)
- [P.A-3 の表 A-2、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報」](#)
- [P.A-16 の表 A-3、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の H.323 情報」](#)
- [P.A-17 の表 A-4、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のボイスメール情報」](#)
- [P.A-18 の表 A-5、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の CTI 情報」](#)
- [P.A-19 の表 A-6、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の Conference Bridge 情報」](#)

- P.A-20 の表 A-7、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の MTP 情報」
- P.A-21 の表 A-8、「パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の MOH 情報」
- 参考情報 (P.A-22)

表 A-1 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の電話機情報

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	SNMP テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプなどの情報が含まれています。
Cisco IP Phone (12 SP+、30 VIP、7910、7940、7960、30SP+、12SP、12S、7935 など)	登録済みの各 Cisco IP Phone は、Cisco CallManager/RegisteredHardware Phone を 1 つずつ増分し、Cisco Phone のインスタンスを 1 つ作成します。	特定のノードに登録済みの電話機に基づく RTMT 検索は、Cisco CallManager/RegisteredHardware Phones perfmon カウンタと同じ数のデバイスを返す必要があります。RTMT 電話テーブルには、登録済み、登録解除、および拒否された Cisco IP Phone それぞれに対して 1 つのエントリが含まれています。	ccmPhoneTable の登録済み電話機の数、Cisco CallManager/RegisteredHardware Phones perfmon カウンタと一致している必要があります。ccmActivePhones カウンタおよび ccmRegisteredPhones カウンタは、Cisco CallManager/RegisteredHardware Phone パフォーマンス オブジェクトとも一致している必要があります。ccmPhoneTable には、登録済み、登録解除、および拒否された Cisco IP Phone それぞれに対して 1 つのエントリが含まれています。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	SNMP テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプなどの情報が含まれています。
			ccmRegisteredGateways、ccmUnregistered gateways、および ccmRejectedGateways は、登録済みのゲートウェイデバイスまたはゲートウェイポートの数、登録解除されたゲートウェイデバイスまたはゲートウェイポートの数、および拒否されたゲートウェイデバイスまたはゲートウェイポートの数をそれぞれ追跡します。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
ゲートウェイには、複数のデバイスまたはポートが含まれている場合があります。各デバイスまたは各ポートは、個別に Cisco CallManager に登録します。Cisco CallManager は、デバイス レベルまたはポート レベルでアラームを生成します。	Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway および Cisco CallManager/RegisteredAnalog Access パフォーマンス カウンタは、登録済みのゲートウェイの数を示します。Cisco MGCP FXS Device オブジェクト、Cisco MGCP FXO Device オブジェクト、Cisco MGCP PRI Device オブジェクト、または Cisco MGCP T1CAS Device オブジェクトは、デバイス レベルまたはポート レベルの情報を追跡します。	Cisco CallManager アラームに基づく RTMT ゲートウェイ テーブルには、デバイス レベルまたはポート レベルの情報が含まれています。登録済み、登録解除、および拒否されたデバイスまたはポートは、RTMT ゲートウェイ テーブルにそれぞれ 1 つのエントリを持っています。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ VG200 は、RTMT ゲートウェイ テーブルに 3 つのエントリを持ちます。	Cisco CallManager アラームに基づく ccmGatewayTable には、デバイス レベルまたはポート レベルの情報が含まれています。登録済み、登録解除、および拒否されたデバイスまたはポートは、ccmGatewayTable にそれぞれ 1 つのエントリを持っています。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ VG200 は、ccmGatewayTable に 3 つのエントリを持ちます。ccmActiveGateway カウンタと ccmInActiveGateway カウンタは、アクティブ (登録済み) および接続が失われた (登録解除または拒否された) ゲートウェイ デバイスまたはゲートウェイ ポートの数を追跡します。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
Cisco IOS GW (Cisco 362X/364X/ 366X および Cisco VG200) (MGCP と して設定されてい る場合のみ)	登録済みの各 Cisco IOS GW は、 Cisco CallManager/ RegisteredMGCPGateway を 1 つずつ増分し、Cisco MGCP Gateway のインスタ ンスを 1 つ作成します。 Cisco CallManager に デバ イスまたはポートが 1 つ だけ登録されると、Cisco CallManager はゲートウェ イが登録されたとみなし ます。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ VG200 は、Cisco CallManager にそのデバ イスまたはポートが 1 つ、2 つ、またはすべて登録さ れたときに、 Cisco CallManager/ RegisteredMGCP Gateway を正確に 1 つずつ増分し ます。	RTMT は、デバイス レベ ルまたはポートレベルで これらのゲートウェイを 追跡します。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ VG200 ゲートウェイは、 RTMT ゲートウェイ デバ イス テーブルに 3 つのエ ントリを持ちます。	SNMP は、デバイス レベ ルまたはポートレベルで これらのゲートウェイを 追跡します。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ VG200 ゲートウェイは、 CCM MIB ccmGatewayTable に 3 つの エントリを持ちます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
FXS	Cisco IOS Gateway の登録済みの各 FXS ポートは、Cisco MGCP FXS Device オブジェクトのインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 FXS ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 FXS ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateway カウンタ、ccmInactiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
- FXO	Cisco IOS Gateway の登録済みの各 FXO ポートは、Cisco MGCP FXO Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 FXO ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 FXO ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
- T1-PRI / E1-PRI	Cisco IOS Gateway の登録済みの各 T1/E1 PRI ポートは、Cisco MGCP PRI Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 T1/E1 PRI ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 T1/E1 PRI ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInactiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
- T1-CAS	Cisco IOS Gateway の登録済みの各 T1-CAS ポートは、Cisco MGCP TICAS Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 T1-CAS ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 T1-CAS ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInactiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
Cisco Catalyst 4000 Access Gateway Module/Cisco Catalyst 4224 Voice Gateway Switch	登録済みの各 Catalyst 4000 Access Gateway Module/Switch は、Cisco CallManager/RegisteredMGCP Gateway を増分し、Cisco MGCP Gateways のインスタンスを 1 つ作成します。Cisco CallManager にデバイスまたはポートが 1 つだけ登録されると、Cisco CallManager はゲートウェイが登録されたとみなします。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ Cisco Catalyst 4000 Access Gateway Module は、Cisco CallManager にそのデバイスまたはポートが 1 つ、2 つ、またはすべて登録されたときに、Cisco CallManager/RegisteredMGCP Gateway を正確に 1 つずつ増分します。	RTMT は、デバイスまたはポート レベルでこれらのゲートウェイを追跡します。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ Cisco Catalyst 4000 Access Gateway Module は、RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルに 3 つのエントリを持ちます。	SNMP は、デバイスまたはポート レベルでこれらのゲートウェイを追跡します。FXS ポート 2 つと T1 ポート 1 つを持つ Cisco Catalyst 4000 Access Gateway Module は、CCM MIB ccmGatewayTable に 3 つのエントリを持ちます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
- FXS	登録済みの各 FXS ポートは、Cisco MGCP FXS Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルは、1 つのデバイスとして各 FXS ポートを保存します。 RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 FXS ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。 ccmActiveGateways カウンタ、ccmInactiveGateways カウンタ、 ccmRegisteredGateways カウンタ、 ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
- FXO	登録済みの各 FXO ポートは、Cisco MGCP FXO Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 FXO ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。 RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 FXO ポートが 1 つのデバイスとして取り込まれます。 ccmActiveGateways カウンタ、 ccmInactiveGateways カウンタ、 ccmRegisteredGateways カウンタ、 ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
- T1/E1 PRI	登録済みの各 FXO ポートは、Cisco MGCP PRI Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 T1/E1PRI ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 T1/E1 PRI ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
- T1-CAS	登録済みの各 FXO ポートは、Cisco MGCP T1CAS Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 T1-CAS ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 T1-CAS ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
WS-4616-FXS (各 WS-4616-FXS には、8 つの FXS ポートがあり、それぞれが個別のデバイスのように動作する)	前述の FXS の項を参照してください。	前述の FXS の項を参照してください。	前述の FXS の項を参照してください。
WS-X6608-E1 (個別の Cisco Catalyst 6000 E1 VoIP Gateways を 8 つ持つ)			
Cisco Catalyst 6000 E1 VoIP Gateway (E1-PRI)	登録済みの各 Cisco Catalyst 6000 E1 VoIP Gateway は、Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway カウンタを増分し、Cisco MGCP PRI Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco Catalyst 6000 E1 VoIP Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco Catalyst 6000 E1 VoIP Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
WS-X6608-T1 (個別の Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateways を 8 つ持つ)			

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway (T1-PRI)	登録済みの各 Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway は、Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway カウンタを増分し、Cisco MGCP PRI Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway (T1-CAS)	登録済みの各 Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway は、Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway カウンタを増分し、Cisco MGCP TICAS Device のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco Catalyst 6000 T1 VoIP Gateway ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
Cisco Catalyst 6000 24 Port FXS Analog Interface Module	登録済みの各 Cisco Catalyst 6000 24 Port FXS Analog Interface Module は、Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway カウンタを増分し、Cisco MGCP Gateway のインスタンスを 1 つ作成します。また、Cisco MGCP FXS Device オブジェクトの 24 のインスタンスを作成し、24 ポートのステータスをそれぞれ追跡します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco Catalyst 6000 24 Port FXS Analog Interface Module が 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco Catalyst 6000 24 Port FXS Analog Interface Module ポートが 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
Cisco Access Digital Trunk Gateway DE-30+ (PRI)	登録済みの各 Cisco DE-30+ Gateway は、Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway を 1 つずつ増分し、Cisco MGCP PRI Device と Cisco MGCP Gateway のインスタンスをそれぞれ 1 つずつ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco DE-30+ Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco DE-30+ Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
Cisco Access Digital Trunk Gateway DT-24+ (T1-PRI)	登録済みの各 Cisco DE-24+ Gateway は、Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway を 1 つずつ増分し、Cisco MGCP PRI Device と Cisco MGCP Gateway のインスタンスをそれぞれ 1 つずつ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco DT-24+ Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco DT-24+ Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。 ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。
Cisco Access Digital Trunk Gateway DT-24+ (T1-CAS)	登録済みの各 Cisco DE-24+ Gateway は、Cisco CallManager/RegisteredMGCPGateway を 1 つずつ増分し、Cisco MGCP T1CAS Device と Cisco MGCP Gateway のインスタンスをそれぞれ 1 つずつ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco DT-24+ Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco DT-24+ Gateway が 1 つのデバイスとして保存されます。 ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、ccmRegisteredGateways カウンタ、ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-2 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のゲートウェイ情報 (続き)

デバイス	PerfMon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
Cisco AS/AT (2/4/8)	登録済みの各 Cisco AS/AT ゲートウェイは、Cisco CallManager/RegisteredAnalog Access カウンタを 1 つずつ増分し、Cisco Analog Access のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT ゲートウェイ デバイス テーブルには、各 Cisco AS/AT ゲートウェイが 1 つのデバイスとして保存されます。RTMT は、テーブル内のデバイスを検索して表示できます。	ccmGatewayTable には、各 Cisco AS/AT ゲートウェイが 1 つのデバイスとして保存されます。 ccmActiveGateways カウンタ、ccmInActiveGateways カウンタ、 ccmRegisteredGateways カウンタ、 ccmUnregisteredGateways カウンタ、および ccmRejectedGateways カウンタは、登録状況に基づいて更新されます。

表 A-3 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の H.323 情報

デバイスの説明	Perfmon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	ゲートキーパー情報は、H.323 Trunk 情報の一部として ccmH.323DeviceTable で使用できます。
H.323 電話機、H.323 ゲートウェイ (H.323 電話機と H.323 ゲートウェイは Cisco CallManager には登録されません。Cisco CallManager は、指定された H.323 電話機と H.323 ゲートウェイへのコールが処理できるようになったときに H.323Started アラームを生成します)	Cisco CallManager が指定された H.323 デバイスへのコールを処理できるようになったときに、各 H.323 電話機または H.323 ゲートウェイに対して Cisco H.323 Perfmon オブジェクトのインスタンスが 1 つ作成されます。	Cisco CallManager が指定された H.323 デバイスへのコールを処理できるようになったときに、各 H.323 デバイスは RTMT H.323 テーブルに 1 つのエントリを持ちます。H.323 デバイスに基づく RTMT 検索は、Cisco H.323 Perfmon オブジェクトのインスタンスの数と同じ数のデバイスを返す必要があります。	ccmH.323DeviceTable は、各 H.323 デバイスに対して 1 つのエントリを持ちます。
H.323 ゲートキーパー (Cisco CallManager は、Cisco CallManager が H.323 ゲートキーパーに正常に登録されると、H.323 ゲートキーパーが登録されたとみなします)		RTMT H.323 テーブルには、各 H.323 ゲートキーパーがデバイスとして保存されます。	

表 A-4 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB のボイスメール情報

デバイスの説明	Perfmon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	SNMP テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプなどの情報が含まれています。
Cisco uOne、ActiveVoice	登録済みの各 Cisco uOne/Active Voice は、Cisco CallManager/RegisteredOtherStationDevices カウンタを増分し、Cisco Phone オブジェクトのインスタンスを 1 つ作成します。	各 Cisco uOne/Active Voice デバイスは、RTMT Voice Messaging テーブルに 1 つのデバイスを持ちます。	ccmVoiceMailDeviceTable は、各ボイスメッセージデバイスに対して 1 つのエントリを持ちます。登録状況に基づいて、Cisco CallManager MIB の ccmRegisteredVoiceMailDevices カウンタ、ccmUnregisteredVoiceMailDevices カウンタ、および ccmRejectedVoiceMailDevices カウンタが更新されます。

表 A-5 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の CTI 情報

デバイスの説明	Perfmon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	SNMP テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプなどの情報が含まれています。 ccmCTIDeviceTable には、各 CTI デバイスが 1 つのデバイスとして保存されます。
CTI Route Point、CTI Port	登録済みの各 CTI デバイスは、Cisco CallManager/RegisteredOtherStationDevice を増分し、Cisco Phone のインスタンスを 1 つ作成します。	RTMT CTI テーブルには、各 CTI デバイスが 1 つのデバイスとして保存されます。	登録状況に基づいて、Cisco CallManager MIB の ccmRegisteredCTIDevice カウンタ、ccmUnregisteredCTIDevice カウンタ、および ccmRejectedCTIDevice カウンタが更新されます。

表 A-6 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の Conference Bridge 情報

デバイスの説明	Perfmon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	SNMP テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプなどの情報が含まれています。
Conference Bridge デバイス	各種のカウンタが会議リソース数を計算して取り込みます。1つの Conference Bridge リソースには、1つの Conference Bridge デバイスから少なくとも3つのストリームが必要です。各 Conference Bridge が複数のストリームを持つように設定できます。	RTMT Media テーブルには、各 Conference Bridge デバイスが1つのデバイスとして保存されます。	ccmMediaDevice Table には、各 Conference Bridge デバイスが1つのデバイスとして保存されます。

表 A-7 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の MTP 情報

デバイスの説明	Perfmon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	SNMP テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプなどの情報が含まれています。
MTP デバイス	各種のカウンタが MTP リソース数を計算して取り込みます。1つの MTP リソースには、1つの MTP デバイスから2つのストリームが必要です。MTP デバイスが複数のストリームを持つように設定できます。48 ストリームで設定されている MTP デバイスの場合、Cisco CallManager は 24 MTP リソースを作成します。	RTMT Media テーブルには、各 MTP デバイスが1つのデバイスとして保存されます。	ccmMediaDevice Table には、各 MTP デバイスが1つのデバイスとして保存されます。
Cisco Annunciator デバイス	各種のカウンタが Annunciator リソース数を計算して取り込みます。	RTMT Media テーブルには、各 Annunciator デバイスが1つのデバイスとして保存されます。	ccmMediaDeviceTable には、各 Annunciator デバイスが1つのデバイスとして保存されます。
Cisco Hunt Lists	各種のカウンタが Cisco ハントリストに関するデータを計算して取り込みます。	RTMT ハントリスト テーブルには、各ハントリストが1つのエントリとして保存されます。	CCM MIB には、ハントリスト情報が含まれません。
Cisco SIP Trunk	各種のカウンタが Cisco SIP Trunk デバイスに関するデータを計算して取り込みます。	RTMT SIP Trunk テーブルには、各 SIP Trunk デバイスが1つのデバイスとして保存されます。	CCMSIPDeviceTable には、各 SIP Trunk が1つのデバイスとして保存されます。

表 A-8 パフォーマンス カウンタ、RTMT、および CISCO-CCM-MIB の MOH 情報

デバイスの説明	Perfmon	RTMT	CISCO-CCM-MIB
		RTMT テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプ、DN などの情報が含まれています。	SNMP テーブルには、IP アドレス、登録状況、モデルタイプなどの情報が含まれています。
MOH デバイス	各種のカウンタが MOH リソース数を計算して取り込みます。1 つの MOH リソースには、1 つのストリームが必要です。MOH デバイスが複数のストリームを持つように設定できます。48 ストリームで設定されている MOH デバイスの場合、Cisco CallManager は 48 MOH リソースを作成します。各 MOH デバイスは、Cisco MOH Device の 1 つのインスタンスを作成します。	各 MOH デバイスは、RTMT Media テーブルに 1 つのエントリを持ちます。登録済みの MOH デバイスに基づく RTMT 検索は、Cisco MOH Device Perfmon オブジェクトのインスタンスの数と同じデバイスの数を返す必要があります。	ccmMediaDeviceTable は、各 MOH デバイスに対して 1 つのエントリを持ちます。

参考情報

関連項目

- [第 9 章「Real-Time Monitoring ツール」](#)
- [第 12 章「Microsoft Performance」](#)
- [第 18 章「SNMP」](#)
- [付録 C「パフォーマンス オブジェクトとパフォーマンス カウンタ」](#)
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』の第 12 章「Real-Time Monitoring の設定」
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』の第 23 章「Microsoft Performance」
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーション ガイド』の第 31 章「SNMP の設定」